

なんぶエゾカツカレー誕生から1年

昨年5月に我がまちの新・ご当地グルメとして誕生した「なんぶエゾカツカレー」が2年目を迎えました。「なんぶエゾカツカレー」の誕生に中心的な役割を果たした、南富良野町商工会鶴谷大輔さんに、誕生までの経緯やこれまでの取り組みなどについて伺いましたので紹介します。

きっかけ・・・

ヒロ中田氏との出会い
そもそものきっかけは、商工会青年部と役場の商工担当者、それと商工会副会長の3人が、当時全道でその地域の資源を活用したグルメ作りを仕掛けていた北海道じやらの編集長であったヒロ中田氏の元を訪れ、「ご当地グルメを展開する内容について話を聞いて、何とか我がまちでもやってみよう」ということで動き出しました。

メニューの選定・・・

新たな地域資源の開発
当初は、我がまちの地域資源といったら人参（当時：生産量日本一）や北落合で生産されているそば、じゃがいもなどがあげられたが、今イチご当地グルメのメニューとしては難しいと言われた。人参であればどちらかといえば副食の要素が強く、主役メニューとしてなりにくい。そばも生産量や知名度も他の地域から比べれば今イチ弱い。そこで、既存の地域資源ではなく新たな地域資源は無いものかと考えていたところ、当町では、エゾシカが年間有害駆除として600頭から70

0頭近く駆除されていて、それを何とか有効活用できないものかと行政側でも考えていた。また、シカ肉も本町においてはハンターさんが自家用として食していたし、もろって食していた方もいました。

エゾシカ解体処理施設の建設計画・・・

エゾシカの有効活用
ただし、メニューとして提供できるものであるならば、食の安全性から、きちんとした解体処理施設で衛生的にも安全

心・安全な肉を提供できる施設が必要でした。そんな中、当町にもエゾシカの解体処理施設ができる計画があることから、ヒロ中田氏がそのようなことならば、エゾシカを有効活用したメニュー、エゾカツカレーはどうかとの提案がありました。

これは、すでにエゾシカの解体処理施設がある日高町で誕生させようと思っていたが、日高町でエゾシカのイメージがなく、当町の方がエゾシカの有効活用が取り組みやすいのではとのことからスタートしました。それが平成19年8月でした。

とはいっても、予算がないとなかなか進めることができないことから、何とか予算をとということで、商工会が窓口となり予算の確保も目処がつかまりました。

推進協議会の設立・・・
ご当地グルメづくりに着手
そして、提供店になっても



△カレールウの勉強会



△調理指導



△デビューに向けての会議



△町民向け試食会

なんぶエゾカツカレーの誕生・・・

そして、ついに、平成20年5月15日に、新・ご当地グルメ「なんぶエゾカツカレー」が誕生しました。

このエゾカツカレーには定義と8つのルールが決められています。

定義は「エゾシカ衛生処理マニュアル」（北海道庁）に添って処理した安心・安全なエゾシカ肉を使った「うすいエゾ風カツカレー」。

ルールは次のとおり。
エゾシカ肉は叩いて伸ばし肉厚5mm程度にする。
カレーの具材は南富良野産にこだわり、お米は道内産を使用する。



△なんぶエゾカツカレー

南富良野町で製造している「くまさ茶」をつける。などといったルールが定められています。

町内外でのPR活動・・・
発売後は、町内外のイベントに数多く出店したほか、テレビ番組でも取り上げられるなど、積極的にPR活動を展開し、多くの皆さんにエゾカツカレーを味わっていただき



△町内外でのPR活動

ました。

また、エゾシカ肉は、高タンパク・低カロリーでとてもヘルシーであることから、町内の保育所や小中学校の給食にエゾシカ肉を利用したカレーがメニューとして提供されたり、南富良野高校や地域での料理講習などでエゾシカ肉が利用されるなど、エゾシカ肉の消費拡大と有効活用を積極的に取り組んできました。

PR隊の結成・・・
ディアガールズ
更に、地元南富良野高校生によるPR隊「ディアガールズ」を結成し、各地域でのイベントでPR活動をしていただいています。



△PR隊・ディアガールズ

販売数が1万食を突破
実に、発売から今年の4月には提供店での販売数が1万食を越え、町内外の方がこの

南富良野町を訪れて、エゾカツカレーを食べてくれたことにとても驚いています。

今後に向けて・・・

「なんぶエゾカツカレー」以外にも、エゾシカと地元農産物を活用した商品開発として、「なんぶ」香房森のパン屋」と連携して、下山産はくちようもち米とエゾシカの挽肉を使用したキーマカレー風のカレーを餡にした「なんぶカレー大福」を5月3日に発売することができました。こちらでも大好評です。

これからも、地域の方々と連携を図りながら、「なんぶエゾカツカレー」がさらに我がまちのブランド「なんぶブランド」として全道のみならず、全国に発信して、まちおこしにつなげていきたいです。



△南富良野町商工会鶴谷大輔さん